

(別紙 12)

大学「地（知）の拠点整備事業」ホームページ掲載用原稿記入フォーム

※以下の項目を参考の上で作成をしてください（様式は自由です）。

実習企業・機関	株式会社 秋田ふるさと村
実習期間	令和元年 8月 21日 ～ 令和元年 8月 25日
学生氏名	高山美樹
実習プログラム	1日目 ・ミーティング（昨日の入村者数などの報告、挨拶練習、その他お知らせ） ・ふるさと村の説明（業務の確認、ポイント・注意） ・ドーム劇場のスタッフ（イベントの案内・説明） ・課題作成 2日目 ・ミーティング（昨日の入村者数などの報告、挨拶練習、その他お知らせ） ・ふるさと村を探検（星空探検館スペース、お土産売場など） ・ドーム劇場のスタッフ（イベントの案内・説明） ・課題作成 3～5日目 ・ミーティング（昨日の入村者数などの報告、挨拶練習、その他お知らせ） ・ドーム劇場のスタッフ（イベントの案内・説明） ・課題作成
学び・気づき (300字程度)	私は実習を通して第一に決断力を身につけること、第二にコミュニケーション能力の向上を目標としていた。スキルを上げるためには「知識」の豊富さが大切であると学んだ。今までは、自身の決断が不安で時間がかかっていた。しかし、実習中に現場に適応できる知識を身に付けさせていただいたおかげで「自信」へとつながり、スムーズに決断をして動くことができた。知識が乏しいままであれば、素早く決断をすることができなかつたと感じる。お客様とコミュニケーションを図る時にも、知識を持っていたからこそ相手に楽しんでいただけたたり、たくさん声をかけたりすることが可能だった。様々な人とコミュニケーションをとることは非常にやりがいがあり、実習のモチベーションにもつながった。実習をさせていただく責任感と同時に、自分自身にも楽しさを見出せたことは嬉しかった。
今後に向けた 抱負 (200字程度)	私自身の課題は、柔軟性を高めることである。初めて直面した状況に対して、スムーズな対応ができないことがあった。このような場面になると落ち着いて冷静に考えることができず、よく考えれば上手くできたかもしれないと後で後悔する。慌てず、冷静な状態で多様な考えを持てるようにこれからは努めようと思った。マニュアル通りの動きが必要なこともあるが、今度は自分の意志や考える力をさらに身につけたいと思う。

<p>インターンシップをして気づいた、実習先の魅力 (300字)</p>	<p>私は特にスタッフの皆様の温かい人柄が印象に残った。ゼロからのスタートである私を温かく迎えてくださり、接客という大切な業務を経験することができた。また、館内の散策もさせていただいた。スタッフの皆様の丁寧な対応、笑顔のお客様を見て、改めて素敵な場所であると思った。そして、久々に「星空探検館スペース」を体験し、懐かしさと新しい内容にワクワクした。</p> <p>疑問点に関して分かりやすくご指導いただいたおかげもあり、充実した実習であったと感じる。実習が始まったばかりの頃は、助けられることが多かった。どのような場面であってもスムーズに応じる姿は、新しく学んだり気がついたりしたことが多かった。後半になるにつれてお客様と接する機会もたくさん作ってくださり、非常に実のある5日間であった。</p>
<p>写真 (1~3点)</p>	